

【NEWS RELEASE】

2021年12月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社帝国倉庫に「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社帝国倉庫（代表取締役社長：永元 徹）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社帝国倉庫については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 倉庫立地の厳選による災害に対するレジリエンス強化、BPO や顧客の書類保管管理のデジタル化等による業務効率化

目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.1 すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くこと等により、多様化、技術向上およびイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

- ② 機密文書のリサイクルやオフィス家具の買取販売事業による廃棄物削減への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
-------------------------	---

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



「機密文書溶解処分サービス」

文書保管に付随する業務としての機密文書溶解処理サービスは、再生紙としてのリサイクル活用や CO2 排出の削減などに貢献します。

「自動梱包ライン」

平和島営業所では自動梱包ラインを導入し作業効率向上に向け取り組んでいます。

「美術品保管等」

常温常湿・ハロゲンガス消化設備を備えた美術品保管庫を新設。一般保管から常温、冷凍冷蔵、文書保管等、お客さまの様々なニーズに対応してまいります。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。